

令和2年度 福井県肝炎医療コーディネーター 認定試験 解答

	問題(1～15は「○」か「×」で答え、記述問題は自由記載)	答
1	肝臓は、代謝、解毒、免疫などにかかわる人体にとって重要な臓器であるが、肝炎ウイルスやその他多くの原因で障害を受けるため注意が必要である。	○
2	肝炎ウイルスの中で、血液持続感染し、肝硬変、肝癌の原因となるのはB型、C型のみである。	○
3	肝硬変患者の栄養療法はタンパク質栄養障害とエネルギー不足があるかを評価する必要がある。	○
4	肝癌の治療方針で最も重要なものは腫瘍の進行程度である。	×
5	NAFLDでは心血管イベントや悪性腫瘍の合併が多い。	○
6	慢性肝疾患の患者には線維化の評価が必要である。	○
7	HBe抗体検査の結果が陰性であれば、一般的にHBVの増殖力が低下していることを示す。	×
8	肝硬変がかなり進行している時は、AST、ALTともに高値を示さないことがある。	○
9	C型肝炎DAA治療は、副作用の少ない安全な治療法である。	○
10	肝がん治療においても、免疫チェックポイント阻害剤による治療が可能となった。	○
11	肥満があっても、お酒を飲まない人は脂肪肝にならない。	×
12	肝硬変で肝機能が低下した場合は、就寝前に補食をとることが有用である。	○
13	福井県に住民票のない方は福井県に肝炎医療費助成の申請ができない。	○
14	福井県肝炎医療コーディネーターは養成研修またはフォローアップ研修を5年に一回受講しなければ認定が取り消される。	×
15	肝炎医療コーディネーターは、肝炎ウイルス感染者に対し、受検、受診、受療に至るまで、ひとりのコーディネーターがすべて担うべきである。	×